

# 国立競技場運営 優先交渉権者に



国立競技場に設置を目指す大型ビジョンのイメージ

## ドコモなど

NTTドコモは3日、同社を代表企業とするコンソーシアム（共同事業体）が国立競

技場の運営事業などに関する公募手続きで優先交渉権者になったと発表した。2025年4月からの国立競技場の運営に向け、日本スポーツ振興センター（JSC）との契約の実現を目指す。

締結を進める。

コンソーシアム「国立競技場×ソーシャルウエルビーインググループ」にはドコモのほか、前田建設工業とSMFLみらいパートナーズ（東京都千代田区）、日本プロサッカーリーグ（同）の計4社が参画した。事業期間は25年4月から55年3月までの30年間。月内に基本協定、9月に実施契約を結ぶ予定。

スポーツ大会や国内外の有名アーティストによるコンサートを開く。大型ビジョンやグループ席の新設、VIPルームの増設など国際水準の体験価値を実現する大規模投資を行う。NTTの次世代通信基盤「IOWN（アイオン）」を用いたスマートスタジアム